



ヘルスケア キャンペーン

健康経営の第一歩

健康経営に取り組もうと思っても「どこから始めたらよいか分からない」「コストはかけたくない」という経営者も多いでしょう。しかし、健康経営はノウハウがなくても、コストをかけなくても始めることができます。「協会けんぽ」などの医療保険を活用すること、そして、まずは自社のことを正確に知ることが大切です。

健康経営を考えると、「自社を正確に知る」=「社員の健康状況を知る」です。

健康への危機意識を共有する

社員の健康状況は、会社が管理する健康診断の結果を分析することによって知ることができます。また、特定健診制度が導入された2008年以降の特定健診を事業所健診として実施する企業も増えていますが、協会けんぽから事業所カルテを取り寄せることが可能です。

こうした健診結果から、単に高血圧が多い、肥満率が高いといった傾向から一歩進んで、「肥満の人ほど高血糖になりやすい」「高血圧、肥満、高血糖など複数の生活習慣病を抱えている人が多い」「痩せているの

に高血圧が多い」といった特徴が分かるはずですが。

こうした自社の健康状況を経営者だけでなく、経営陣や人事・総務など健康経営を実施する部門の間で、共有しましょう。

自社に特徴的な傾向や課題、キーワードなどを書き出すことで、全社的な健康増進活動の必要性、健康づくりの重要性を互いに認識できるのです。

その上で、健康経営に関するスローガンを掲げ、やりがいのある仕事を成し遂げるために健康経営を会社の意思として始めることを社内外に発信します。

各部門間の連携で従業員の健康増進

NEC

「人ひとりを大切に」を理念とするNECは、従来より、従業員の健康維持・増進に積極的に取り組んできました。例えば、発症リスクの高い危険因子(肥満、高血圧等)を多く持つ者への産業医による生活改善指導、社員とその家族も参加できる「歩け歩け大会」、社員食堂でのカロリー表示、ヘルシーメニューの提供など。さらには、産業医や有識者を招いての講演会、職場でのストレッチ体操の指導・奨励や社内施設を使った体育活動の奨励などがあげられます。

2008年には厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導」施策に合わせ、今まで各部門ごとに行っていた健康施策について方針や方向性を合致させて「NECヘルスイノベーション21」として連携したイベント活動を展開しています。

当初はメタボリックシンドローム改善活動が中心でしたが、2013年度から、がん予防、ストレス対策、歯科口腔衛生、禁煙施策も加えた総合的な健康増進策として展開を始めました。各部門間の連携を図ることにより、相乗効果が生まれることを目指しています。

2008年のスタート時と比較し、2014年度までにメタボリックシンドロームと診断される社員が20%以上減少するなどの効果を上げました。



働く人を
支える
取り組み

家族と一緒に参加する「歩け歩け大会」の様子

ともに奏で、ともに創る。
私たちの未来。

私たちは世界中の人びとと協奏しながら、
先進のICTで、明るく希望に満ちた社会を実現していきます。

Orchestrating a brighter world

NEC群馬支店
〒371-0024 群馬県前橋市表町2-9-9 (明治安田生命前橋表町ビル)
TEL: 027-243-8080

わたしたちは、
ヘルスケアキャンペーンに参画しています。

主催 上毛新聞社

共催 群馬県、全国健康保険協会 群馬支部

後援 群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬県中小企業団体中央会、群馬県医師会

特別協賛 アクサ生命保険株式会社

協賛 公益財団法人 群馬県健康づくり財団、群馬トヨタ自動車株式会社、群馬トヨペット株式会社、株式会社榛名湖温泉ゆうすげ、医療法人社団三思会 東邦病院、群馬ヤクルト販売株式会社、NEC、株式会社メモリード (順不同)